

あなたと町政を結ぶ

議会だより



みのぶ

2006
GIKAI DAYORI
MINOBU
No.7



あじさい咲く通学路

6月定例議会

6月議会で決まったことP2 ~ 3
依田町長の行政報告P4
議案と質疑P5 ~ 6
一般質問に4議員が立つP7 ~ 10
【町民ひろば】(文化協会身延支部)P12

身延町の六月定例議会は十九日に開会、全議員出席のもとに二十二日まで四日間の会期で開かれまし
た。この議会では、町長提出の一般会計ほか九特別
会計の補正予算、指定管理者の指定一件、条例改正
一件、繰越の報告四件、専決処分承認一件、契約
関係四件、財産（消防車）の取得一件、人権擁護委
員の推薦一件を審議し、いずれも原案の通り可決し
ました。

この議会では、議員提案により「議会活性化特別
委員会」の設置を決定したほか、議会への請願二件
を採択し、国への意見書を可決しました。

一般質問は二十日に、四人の議員が登壇して、新
合併構想をはじめ、道路交通、温泉開発、観光振興、
環境、福祉など幅広く町政の課題について活発な質
問を展開し、町当局の考えをただしました。



観光トイレが建設される本栖湖畔展望台

六月議会で決まったこと

議案と審議

本栖湖畔に富士展望トイレ建設

今回の補正予算の内容は、新年度の機構改革に伴う組織の変更、人事異動に
伴う給与費の補正を中心に、本栖湖畔の富士展望トイレ建設費、CATV整
備検討費、中部横断道推進費などが補正計上されています。（全員賛成で可決）

一般会計 補正予算 **4,845万円** 総額 106億5,371万円に

（単位：万円）

補正のおもな財源		
県支出金	1,669	農業・林業・観光・教育
寄付金	150	小学校、灌漑用水施設への指定寄付
繰入金	11	湯町開発基金から
繰越金	135	
諸収入	740	コミュニティ助成金、地域資源活用事業助成金
町債（借入金）	2,140	
合計	4,845	
補正のおもな支出		
議会費	14	会議録データ作成ほか
総務費	3,996	給与費、CATV施設整備検討費、備品費、例規データ作成費ほか
民生費	3,808	給与、手当の減額調整、特別会計へ繰出金ほか
衛生費	2,081	〃
労働費	40	
農林水産業費	858	環境公益林整備事業交付金ほか
商工費	3,987	富士展望トイレ建設費ほか
土木費	613	中部横断道推進計画資料作成費ほか
消防費	134	機庫解体工事費ほか
教育費	1,089	小・中学校管理費、公民館費、文化振興費ほか
合計	4,845	

千円以下を略しているため、合計額が一致しない場合があります。

補正予算

おもな

質疑答弁

CATV デジタル化の方向は

穂坂英勝議員 CATV

施設整備検討費五二五万円の内容は、NHKの共聴アンテナで視聴している所もあるが、デジタル化に向けての対応はどうなるのか。

町立保育所の人件費が異常に高額になっているが、その内容は。

企画財政課長 民間と公

営のCATVが同じ町の中に混在している中で、二〇一一年のデジタル化に向けて、どのような手法がいいのか検討したい。中富、身延の業者はすでにチラシで引き続き継続していく意思を示している。NHKの共聴組合もふくめて、基本的には現在の業者の方でやっていただきたいと思う。下部のCATVは民間の業者

PF1とは

公共事業などの社会資本整備に民間活力を導入すること。

がやってほしいという動きもあるが、民間の資金を活用するPF1の手法もふくめて検討したい。

子育て支援課長 従来、

静川保育所の中に保育課があった。職員二名増員になり、子育て支援課が新設されたが、安易に人件費を静川保育所の中に計上してしまった。組替えが可能であれば、九月補正で対応したい。

本栖湖畔トイレは

石部典生議員 CATV

施設整備の検討により、いづろ方向性が出る見通しか。

本栖湖のトイレの建設箇所と完成の予定、建築の構造は。

企画財政課長 来年度早い時期までに方向性を出すようにしたい。

観光課長 中之倉の共有

地約二二〇平方m借用し、木造平屋建て四八・四四方m、男性用二、大一、女性用三、身障者用一を建設



身延山入山行列のお万の方(6月17日)

する。駐車場五台分、インフォメーションのスペース

もとの予定。寒冷地仕様で浄化槽は一二人槽、排水は一〇PPMまで三次処理をして本栖湖へ放流する。

七月に着工して約三か月で完成を目標にしている。

臨時職員増員は

日向英明議員 新年度が始

まわらずか三カ月で、各款に臨時職員の賃金が計上されているが、なぜ当初予算で計上しなかったのか。

企画財政課長 当初の段階

で臨時職員を削減したが、その後、現場の状況でどうしても必要で、最低限の措置をしたものである。

下部支所長 職員の長期入

院、リハビリのために、久那土、古閑出張所のパート

賃金を計上したものを。

町民課長 産休の職員の補充のため、臨時職員賃金を計上した。

日向英明議員 産休とか病気は理解できるが、金山博物館や文化会館は、なぜ当初で検討できなかったのか。

昨年暮れの一二人の退職で、熟練した臨時職員が退職したためではないか。

生涯学習課長 人数は配置されたが、接客や、舞台装置の機械操作などに問題があるため、今回補充をお願いした。

日向英明議員 この補正で

計上した臨時職員は何人が

総務課長 町民課一人、下

部支所二人、金山博物館一人、総合文化会館一人であり、支所と文化会館はパ

渡辺文子議員 総務費の消耗品費、事務機器リース料の減と、データベース構築費、備品購入費の増額の理由は。

施設の点検管理費の内容は

総務課長 町の例規集は従来は改正のたびに業者に委託して追録してきたが、今後すべて自力で編入、更新するためサーバーとシステムのソフトを購入するもの。これにより後年度負担が大幅に軽減される。

旧身延保健所の土地・建物が県から町に無償譲渡されたため、建物の安全確認や点検をするもの。

旧保健所の活用は

渡辺文子議員 旧身延保健所の活用方法と、耐震度は。

小学校費の嘱託医報酬と委託料は。

企画財政課長 使用方法

は未定だが、県には庁舎の一部として利用すると申し出ています。耐震診断はして

ない。(二階建、鉄筋コン

クリート) 学校教育課長 身延地区四小学校で今年度から耳鼻科検診を実施するための経

費。

中部横断道の 見通しは

石部典生議員 中部横断道

推進の進捗状況と見通し、身延町推進チームの活動について説明を。

町長 中日本高速会社によるコースの調査はかなり進んでおり、国交省の管轄になっても大きな変化はないと思う。町としては予定されているインターチェンジのほかにもう一カ所、道の駅が設置されて乗り降りが可能なスマートインター的な施設を要望している。

大和総研に委託したインター周辺の開発構想も進めていきたい。推進チームは具体的に活動する部隊で、用地買収、残土の処理、沿線の皆様への説明会などに取り組んでいく。

中部横断道推進に向け地域開発構想



依田町長の行政報告

町長就任以来一年半となるが、清潔・公平、信頼を政治信条として旧町の枠組みにとらわれない施策の展開に努めてきた。平成十七年は多事多難の年であったが、十八年は改革の年であり、さらに前進する年としたい。

分権と地方財政

地方交付税削減を前提とした国の改革論議は、地方分権の視点を欠いたものであり、地方にとって危機的な状況である。



地方六団体は五月三十一日に「地方自治危機突破大会」を開き、「新地方分権推進法の制定」「国と地方の協議の場を法定化する地方行財政会議の設置」「地方交付税は地方の固有財産であり、地方共有税と改める」など七項目を国に提出した。

しかし竹中総務相は、地方交付税削減を念頭に、人口と面積を基本とする

新型地方交付税を提言している。国が一方的に交付税削減などの改革を打ち出すのではなく、国と地方が対等に協議するのが筋である。ポスト小泉政権が、財政再建と地方分権をバランスよく両立させる、新たな改革を打ち出すよう切望したい。

町政の諸課題

行政改革の推進

十七年度から五年間の計画であり、現在初年度の検証と集中改革プランの見直し中。七月に実績

を公表、十八年度以降の目標値を定めた第一次改訂版を公表の予定。

総合計画の策定

現在は課題の整理、分析をほぼ終わり、素案のとりまとめ中。議員各位にも考え方、方向等について説明する。十年後の身延町の姿を描き、行政課題に対応する。

地域防災計画の策定

三月に策定、これを基本に安全、安心のまちづくりを進める。峡南地域防災連絡会議が設立され、連携して総合的な地域力の強化を図る。

児童生徒の安全対策

二月から青色パトカーを運用、地域住民による見守り活動が全町に拡大されている。六月からはスクールガードリーダー制度がスタートした。

中部横断自動車道

六郷IC（富沢ICの間）二八キロの新直轄方式

施工が決定、およそ十年間で全線開通の目途がつき、現在国ではICや道の駅などの位置、構造等の検討を進めている。関係町と県の推進会議を立ち上げ、早期完成を推進するとともに、開通を視野に入れた地域開発構想に取り組みたい。

下部温泉新源泉の利用計画

新源泉はPH九・四の強アルカリ源泉で水温五〇度、動力湯湯で毎分四〇〇リットルの湧出量である。今後利用計画を立て、早急に送湯管敷設工事に着手し、早期の活用を図りたい。

町民予算提案事業

二七件の提案を検討し、四件の事業実施を決定した。提案者と協議して進めたい。

大河ドラマと観光対策

平成十九年一月からのNHK大河ドラマ「風林火山」放映に合わせ、観

光立町を目指す本町としても観光振興の方策を探りたい。ドラマ製作者若泉氏を招いて講演会を計画した。

各区からの要望に対応

十八年度の各区長からの地域要望を集約している。可能な限り対応し、年度の途中にも処理の報告をする。

水道料金の統一

十九年度の初頭に料金の統一を視野に、水道審議会の答申も勘案しながら検討を進めている。

福祉保健課の統合

四月からすこやかセンターに福祉保健課を移して業務を統合した。各支所には保健師を配置し、従前の保健業務機能を残しており、福祉行政が後退しないよう努力したい。

提出議案については「議案と審議」の記事を参照

特別会計 補正予算

各議案とも全員賛成で可決

時職員二人と保健師二人で行っており、今のところ順調に進んでいる。

介護サービス会計

(第一号)

・補正額 四七七万円

・予算総額 三、二五八万円

身延簡易水道会計

(第一号)

・補正額 六、四〇三万円

・予算総額 九億六、四一〇万円

農業集落排水会計

(第一号)

・補正額 減七千円

・予算総額 八、一七四万円

下水道会計 (第一号)

・補正額 減一七六万円

・予算総額 一一億八、三八〇万円

青少年自然の里会計

(第一号)

・補正額 減二二〇万円

・予算総額 四、一二七万円

広野村上他九山恩賜林保護財産区会計

(第一号)

・補正額 四万円

・予算総額 一一九万円

国保会計 (第一号)

・補正額 減額一〇〇万円

・予算総額 二〇億三、三七〇万円

老人保健会計(第二号)

・補正額 減額一四九万円

・予算総額 二九億三、五二二万円

介護保険会計(第一号)

・補正額 減額二、六二〇万円

・予算総額 一六億一、九二二万円

おもな 質疑答弁

笠井万記議員 四月にスタートした包括支援事業が減額されているが、事業の状況は。
福祉保健課長 人事異動で職員二人を介護サービス事業会計に移したための減額である。支援センターでは要支援者のケアプラン作成を有資格の臨

指定管理

身延駅前しょうにん通り駐車場の指定管理者指定

・指定管理施設

身延駅前しょうにん通り第一〜第四駐車場

・指定管理者 身延駅前しょうにん通り駐車場

組合

組合長 雨宮民樹

・指定期間 平成十八年七月一日から二十一年三月三十一日まで

条例

町営駐車場条例の制定
指定管理者の指定により町営駐車場条例の全部を改正するもの。
全員賛成で可決

契約

北小学校校舎棟建築工事契約の一部変更
変更後の契約金額 七億二、二六一万三、一五〇円
契約の相手方 早野組・長田組共同企業体
変更の内容



身延駅駐車場

おもな 質疑答弁

基礎支柱基盤の確認試験、基礎コンクリートの追加、トイレブースのドア変更、コンピュータ室の戸棚増設、暗幕の追加
増加金額 八六一万三、一五〇円
全員賛成で承認

川口福三議員 三月議会で減額し、今回増額だがその理由は。

学校教育課長 三月議会の減額は入札差金で、今回の補正は詳細な地質調査の結果、一部に地耐力が不足しているため特殊基礎を施工しなくてはならない箇所が一八カ所あり、消防署の中間検査の結果による指導も併せて契約変更をするものである。

川口福三議員 最終段階にきてからの、基礎工事の変更は設計ミスともいえる大きな問題で納得いかない。今後の審査、監督を願いたい。

笠井万記議員 地耐力の試験がなぜ最初の時点でできなかったのか。八六一万円増額の工事はすでに終わっているのか。

学校教育課長 工事は日々進んでいる。週一回の工程会議で確認しており精神的な変更とご理解願いたい。校舎棟は九二%、屋体は九五%の進捗率となっている。
全員賛成で承認

北小学校校舎棟電気設備工事契約の一部変更
変更後の契約金額 八、五五七万九、二〇〇円
契約の相手方 若尾電気
変更の内容 照明器具の配置交換、コンセント、スイッチ増設、位置変更、分電盤の改造等
増加の金額 一八四万一、七〇〇円

おもな 質疑答弁

笠井万記議員 一八四万円増額の内容は。

学校教育課長 コンセント、スイッチの増設、追加、位置変更と分電盤の改修、照明の光度アップ工事で、いずれも学校からの要望によるもの。
全員賛成で承認

北小学校屋内運動場新築工事契約の一部変更
変更後の契約金額
二億七、九二七万六、九〇〇円

契約の相手方 三井建設工業・宝建設共同企業体

変更の内容 ステージの中心幕の追加、地盤試験、基礎コンクリートの追加変更、分電盤の改造等
増加の金額 一〇二万六、九〇〇円
全員賛成で承認

北小学校屋外プール新築工事契約
契約金額 七、〇八七万五千円（消費税込み）
契約の相手 近藤工業株式会社
・メイン25 x 11m、サブ8 x 5m
完成時期 十月十三日

おもな 質疑答弁

笠井万記議員 予定価格七、一〇〇万円に対し落札率は九四%と高いが、八社の入札価格は、
企画財政課長 扶桑建設六、八〇〇万円、松井組

工友六、八四〇万円、旭工業六、七九〇万円、小林建設六、九〇〇万円、身延工業六、九六五万円、川口建設六、九〇〇万円、近藤工業六、七五〇万円
全員賛成で承認

財産の取得

・消防ポンプ自動車一台 金額 一、六三九万八、七一〇円
・購入先 山梨市 三和防災株式会社
・配置先 下部第一分団 第三部（湯町）
全員賛成で承認

専決処分の報告

全員賛成で承認

十八年度老人保健会計補正予算（第一号）

報告

十七年度一般会計繰越明許費
十七年度中富簡易水道繰越明許費
十七年度身延町下水道会計繰越明許費
十七年度一般会計事故

人事

繰越し計算
全員賛成で承認
人権擁護委員の推薦
望月秀哉（梅平）再任
小林五百子（北川）再任

請願

高野雅史（宮木）新任
遠藤和美（中山）新任
千須和百合子（帯金）新任
全員賛成で推薦に同意
義務教育費国庫負担制度の堅持と、教育の機会均等、水準向上を求める請願
日本郵政公社の集配局廃止計画に反対し、中止を求める請願

議員提案

身延町議会活性化調査検討特別委員会の設置
提出議員名 笠井万記 伊藤文雄 望月寛 日向英明 奥村征夫 中野恒彦
設置の目的 議会構成の調査検討、議会機能

第一回臨時議会

四月二十六日開催

の調査検討、財政的機能の調査検討、行政監督機能の調査検討
委員数 七人
委員長 笠井万記

副委員長 穂坂英勝
委員 中野恒彦 川口福三 奥村征夫 福与三郎 日向英明

【専決処分の承認】

・町条例の一部改正
地方税法にともなうもの
・農村地域工業導入促進のための固定の免除に関する条例の一部改正
課税免除期間の延長

・国民健康保険条例の一部改正
地方税法にともなうもの
・国民健康保険条例の一部改正
診療報酬の算定方法の改正

・自然環境保全条例の一部改正
行政連絡員規則に伴うもの
行政連絡員規則はいつ、どのように改正されたのか。

答 四月一日に公布、行政連絡員を区長に改めた。
・十七年度中富簡易水道

六月定例議会の審議日程

六月十九日（月）

開会 本会議

・会議録署名議員の指名
・会期の決定
・諸般の報告

・町長施政方針報告
・提出議案の報告・上程
・提出議案の説明

・提出議案に対する質疑
・提出議案に対する討論
・提出議案の採決

六月二十日（火）
一般質問（四人）

六月二十一日（水）
休会

六月二十二日（木）
本会議

・付託議案の委員長報告
・付託議案に対する質疑
・付託議案に対する討論
・付託議案の採決

・追加提出議案の上程・説明

・追加提出議案に対する質疑・討論

・追加提出議案の採決
・町長のあいさつ
閉会



6月定例議会

19日~22日

ここが聞きたい!

一般質問

6月定例議会では4議員が質問に立ちました。
以下はその要約です。

質問

早川町との
合併はあるのか

答弁

現時点では未知数である



河井 淳議員

川町、南部町、そして身延町の六町を「峡南市」としているが、どう考えるか。

問 県の市町村合併推進構想では、身延町と早川町は、早急に実現すべき合併と位置付けているが、町長はどう考えるか。

町長 最終的には、峡南市という構想は是と考える。ただ、峡南市という広域的なくくりが、果たして住民にとってプラスになるか、検証する必要がある。

町長 早川町長は単独でいくと表明しており、現時点では結論を見出すのは難しい。身延町も合併後一年八カ月で、まだ深く検討していない。地理的な問題、財政的な問題や、県がどのようなサポートをしてくれるのかなどを見極め、今後検討していく。

問 将来的に望まれる合併構想として、増穂町、鯉沢町、市川三郷町、早

問 全国的に子供を産める施設が減少している。山梨県でも十年前の約半分の一九施設となってい

問 町内での分娩施設
ゼロの対策は

町長 まず、各集落単位の小さな小さなコミュニティが、しっかりと機能していくような状況づくりをして、はじめて大きな将来的なまとめができると思われる。

問 全国的に子供を産める施設が減少している。

山梨県でも十年前の約半分の一九施設となってい

マタニティー教室



問 保育園の延長
保育の現状は

問 町内の保育園の延長
保育、一時保育の現状は

子育て支援課長 町立、私立の八カ所の保育園全部で、一時間一五分から二時間四五分の延長保育をしている。一時保育も全部の保育園で実施し、私立の一カ所では無料で実施している。料金は町立では三歳未満児一、八〇〇円、三歳児一、五〇〇円、四歳以上児一、三〇〇円。私立では未満児一、五〇〇円、三歳以上児一、〇〇〇円となっている。

問 保育園での食事はどのように提供されているのか。

子育て支援課長 ほとんどの保育園で、未満児は主食、副食とも園で用意し、三歳以上児は副食のみ給食している。私立の一カ所では三歳以上児にも主食、副食を給食している。おやつは八カ所とも未満児は午前と午後の

二回、三歳以上児は午後だけとなっている。

問 地上波デジタル
への対応は

問 2011年のアナログ放送終了を前に、町内でのCATV加入率と、地上波デジタルへの対応はどうか。

企画財政課長 下部地区のSCTは全世帯が加入

中富地区は日本ネットワイクサービスに五割弱の七六六世帯、NHKの共聴テレビ組合一〇組合に三二一世帯が加入。身延地区は峡南CATVに六割七割の一、八〇〇世帯、NHKの共聴テレビ組合三組合に一三五世帯加入している。中富、身延地区のCATV業者はデジタル化に対応して継続していくとしているが、下部のSCTはデジタル化に対応していない。

今後、民間活力の導入も視野に受信体制を整えたい。共聴組合は今までどおりNHKと協議していただきたい。

質問

町内の交通網整備は

答弁

バス運行対策委員会で 検討中



松浦 隆議員



現在の照坂トンネル

問 現在の町内のバス路線と利用状況、経費を説明してほしい。

総務課長 旧三町の運行形態を継続しており、町営が四路線で年間三万八、四〇〇人、代替バスが五路線、四万二、三〇〇人が利用している。

経費は町営が四路線で二、二二九万九千円、代

替バスが運行委託で四、六八三万二千元、生活バス補助金として富士急行へ一、二七一万八千円、町有バスで六一四万円である。

問 全体の約八千八百万円の経費が必要であるが、経費の節減を図りながらも、住民の足の確保を行政サービスとして続けてもらいたい。現在の路線に対する不満や、新設路線の要望はあるのか。

総務課長 昨年、栃代川流域住民から廃止路線継続の陳情が一件あった。

問 交通網整備計画の進捗状況は。

総務課長 昨年度から継続でバス運行対策検討委員会を開催し、町内の交通ネットワーク、観光周遊ルート、生活路線の確立に向け、民間業者の意見も参考に検討している。今年度中に運行形態、経費を含めて方向性を出し

たい。

問 三月議会で質問した、栃代川流域の住民に、デイサービスのバスを利用できることの周知がなされていないと聞いているが、その後の対応は。

総務課長 回覧で杉山、岩欠、大炊平の住民にお知らせしている。

問 地元の人も、デイサービスの職員にもよく周知されていないかつたと聞いているが、どうなのか。

社会福祉協議会事務局長 担当者に確認したが、過去のことで明確な回答はなかった。改めて回覧でお知らせし、その後一人の利用者があつた。

問 職員の異動もあるのに、引き継ぎをしっかりとしてほしい。

町長 栃代川流域のバス問題は、担当課へニーズの確認を指示してある。そのデータが出てきた時点で対応したい。

問 周知徹底してはじめて確実なデータが出るので、そのデータに基づいて検討してほしい。

十月から施行される道路運送法改正への対応をどう考えているか。

総務課長 規制緩和により、特定の車で有償で送迎できる制度が十月からスタートするが、総合交通体系の中で地域の足として何が必要か、見極めて対応したい。

問 五月末に提出の「要望書」について

問 各区から五月末に提出された「要望書」は、下部、中富地区は陳情書だったが、変更された理由は。

町長 政治的にお願いするといった感じの陳情でなく、民主的なニュアンスで「要望書」とした。

問 どのくらいの要望が出ているのか。また要望に対する処理、対応は。

総務課長 今年度分は現在集計中。昨年度は三十三件が提出された。九割までが建設産業課の関連だが、総務課でとりまとめ、各課で対応する。今年度は中間報告とし

て各区長さんに報告し、来年三月の最終区長会で最終回答をする予定である。

問 中間報告、最終報告の流れは、一方通行から双方向の形になり、住民に透明性と安心感を与えることになるので、継続を望む。

問 照坂トンネルの現状は

問 照坂トンネルの新規掘削工事の経緯と現状、着工の時期は。

建設課長 地元の強い要望に県が早期事業化が必要と判断、地域と設計協議も終わり、用地取得等の着手準備中。十八年度着工を予定している。

問 工事に伴う交通止め期間、町営バスの対応はどうか。早期完成へ向けて早急な努力を望みたい。

建設課長 安全性を考え、交通止めで工期短縮の努力をしている。問題点は担当課で地元住民と協議をする。

今年度は中間報告とし

質問

処分場に強制力のある
条例制定検討を

弁答

当面、現指導要綱で
対応したい



芦澤健拓議員

領」ではなく、強制力のある条例を制定する考えはないか。

企業財政課長 現在のところ条例化する考えはないか。

質問
校舎のエコ改修
事業導入は

環境省が実施している校舎のエコ改修と、環境教育推進に関する事業について承知しているか。

学校教育課長 その件は承知している。

は甚だしく、地球は破滅に向かい、人類滅亡の危機を迎えようとしている。本町を、日本の環境先進地にするための町づくりを考えて、この事業を積極的に取り入れてはどうか。

町長 事業の制約をクリアできればという考えはある。町は現在も環境問題には環境下水道課が主力で活動しており、静川小ではBDF（バイオデューゼル燃料）に取り組んでいる。環境問題には積極的に取り組んでおり、先進町であるという認識を持っている。

上がってくる間に四〇度弱に下がる。
問 歴史のある温泉として有効利用が期待されるが、条例制定等の進捗状況、基本理念を聞きたい。
企業財政課長 調査で既存の温泉への影響もないことが明らかになり、関係者に報告した。稼働後の影響調査を進める。活用方策は七月ごろまでに地元との協議、県への許可申請、温泉審議会に提出の準備を進めたい。七月下旬から八月月上旬を目途に、補正予算、条例制定の計画である。基本理念は下部温泉郷の活性化である。動力揚湯は毎分二〇〇リットルが限度だが、旅館業法の営業許可を受けた者、入湯税を納めている者、一部公共施設を対象にする。

町長 下部支所は耐震基準を満たしていない。開発センターは調査中。基本的には支所機能は下部保健センターに移転するが、教育関係機関等の機能移転は所管が異なるので言及しない。開発センターの耐震診断の結果にもよるが、下部支所取り壊し後の措置は、地区の住民感情等にも配慮して前向きに対処したい。

問 「山の都」の関連会社と目される(株)山の都運輸という会社が、車田地内の山林七、五〇〇平方mを買収した。身延町土地利用指導要綱では三千平方m以上の開発行為は、町との事前協議が定められている。申し出はなかったか。



新源泉を利用して「足湯」を作りました

問 新源泉を利用した「手づくり足湯」をオープンしたということだが、当初、泉温五〇度と聞いたが、新聞報道では四〇度となっている。その理由は何か。

企業財政課長 動力揚湯では五〇度だが足湯は自噴であり、一、五〇〇m



下部温泉郷

地域に密着した社協は各地区に
支所機能を残すべきだ

答弁

各地区ごとの活動をまとめ
それぞれ交流を



渡辺文字議員



学童保育(豊岡公民館)

問 おもちゃ図書館やいきいきサロン、旧町で実施していた良い事業は全町に広げてほしいと思うが、**社会福祉協議会事務局長** 各事業を精査して統一

化を図り、良いものは広めていきたい。
問 介護保険を節約するために、予防的措置として、生きがいデイサービスを各地区一カ所ではなく、公民館などを使っ

て増やしていくべきではないか。
問 各地区にいたヘルパーさんを一カ所に集め、それぞれの地区に出かけているが、無駄ではないか。各地区に活動の拠点

を置くべきだと思うが。
問 社会福祉協議会事務局長 時間を有効に利用し、三地区に平等のサービスを提供していく。日常的な業務の打ち合わせのため一カ所に集めた。

問 統合したからといって、地域ごとに特色があるボランティア活動をつにする必要はない。地域で安心して活動してもらうために、支所機能を残し、コーディネーターを配置すべきだと思うが。
社会福祉協議会事務局長 統合してまだ二カ月、今後もし不都合があれば充実したサービスが提供できるように考えていく。
町長 福祉の問題を社会福祉協議会としてどう理解し行動していくのか。いつまでも町の委託事業をやっているような考

えていない。
問 各地区にいたヘルパーさんを一カ所に集め、それぞれの地区に出かけているが、無駄ではないか。各地区に活動の拠点を置くべきだと思うが。
社会福祉協議会事務局長 時間を有効に利用し、三地区に平等のサービスを提供していく。日常的な業務の打ち合わせのため一カ所に集めた。

問 統合したからといって、地域ごとに特色があるボランティア活動をつにする必要はない。地域で安心して活動してもらうために、支所機能を残し、コーディネーターを配置すべきだと思うが。
社会福祉協議会事務局長 統合してまだ二カ月、今後もし不都合があれば充実したサービスが提供できるように考えていく。
町長 福祉の問題を社会福祉協議会としてどう理解し行動していくのか。いつまでも町の委託事業をやっているような考

えては、今後の事業が成り立っていかない。
問 夏休みなども一日預かってもらえる学童保育を
問 合併し、三地区で始めた学童保育は、施設面をはじめさまざまな課題があるが、子どもたちにとって良い環境づくり

に努力してほしい。夏休みなどにも一日預かってほしいという親たちの強い要望があるが、町の方針は。
町長 問借りでなく、きちんとした施設が理想だが、広がりのある町で難しい。学校の空き教室をお願いしたが難しいようだ。教育現場の考えも詰めていきたい。
問 住民検診を受けやすくする努力を
問 住民検診を受けやすくするための町の取り組みはどうか。
福祉保健課長 下部地区、身延地区では七十歳以上の高齢者の負担金を取ら

あれはいつになった？

過去の議会での質問や、提案、陳情等に対して、当局が「実施、検討」を約束した事からについて、その後どのように対処したのか、そのおもなものを追跡しました。

質問 提案 陳情など その後の経過

防災計画を見直すのと安全対策を図ると答弁があったが。

新たに「身延地域防災計画」を策定し、既に関係機関に配布しました。

児童・生徒の事件防止

スクールガードリーダーを配置し、青色パトカーの巡回による監視のほか、地域住民のボランティアによる子ども見守り隊で安全確保を図っています。

行財政改革を早急に推進すると答弁したが、行政改革推進委員会の答申を受け、平成十七年度から二十一年度までの集中改革プランを策定し進めています。

地球温暖化防止対策で、太陽光発電装置の設置に補助制度を設けると答弁しているが、現在検討中です。

電気防護策が設置された圃場



第一次評定者 課長
局長 室長 支所長
第二次評定者(評定委員会) 町長 助役および
総務課長など

荒廃地の削減を図る対策の実施はどうなった。
町民に中山間等補助事業導入を呼びかけています。

有害鳥獣対策として、犬の放し飼い方法を検討すると答えているが、

狩猟犬の訓練や、飼主の責任など問題が多く、実施困難である。

特産農産物の品種指定をして普及を図ると答弁しているが、

普及所・農協等にも協力を依頼し、町に合った品種の選択に取り組んでいる。

投票所の統廃合は、対象地域を特定し、理解を得るため、地域住民への説明会を開催している。

職員の人事評価制度を導入すると答弁しているが、十八年度試行、一九年度から導入の予定です。評価方法は

議会日誌

3月	4月	5月	6月
9日 第一回定例議会開会 (十七日まで)	31日 退職者辞令交付式	11日 県議会運営委員長会議	7日 議会運営委員会
9日 第一回議会広報編集委員会	3日 辞令交付式	12日 環境美化植樹祭	10日 青少年育成町民会議
9日 第一回議会広報編集委員会	4日 第三回議会広報編集委員会	16日 17日 県南衛生組合視察研修	12日 期総会
14日 各中学校卒業式	6日 各小学校入学式	19日 県議会広報委員長会議	16日 中央新幹線沿線シンポジウム2006
20日 中富地区行政連絡員会議	7日 各中学校入学式	23日 24日 町村議会正副議長研修会	17日 身延山御入山行列
22日 第二回広報編集委員会	9日 消防団出初め式	25日 例月出納検査	
22日 各小学校卒業式	12日 高機能消防センター竣工式	30日 県監査委員会定期総会	
22日 各小学校卒業式	14日 増穂町制施行五五周年記念式典		
22日 各小学校卒業式	18日 市町村長・議長会議		
22日 各小学校卒業式	19日 町村議会議長会議		
22日 各小学校卒業式			



北斎描く身延の富士

文化協会身延支部研修から

恒例の文化協会身延支部の研修は、六月十八日に県立博物館と、北杜市長坂町の「平山郁夫シルクロード美術館」見学を主に実施しました。広島公男会長以下会員と事務局の穂坂リーダーを合わせて総員六十七人が参加しました。

知られていますが、シリーズの全部を見る機会はありません。今回、県立博物館の特別企画として公開されたわけですが、「富嶽三十六景」は、実は全部で四六枚あることを知って驚きました。

北斎は三十六景に加え、晩年の天保年間に「裏富士」十点を補作し四十六景としたのですが、この中に、石和宿からの富士を描いた「甲州伊澤」と並んで「甲州身延川裏不二」があります。

旅における視覚体験がもしれない。山国のイメージが先行した図といえようか」とありました。

視察先はどちらも見ごたえがあり、有意義な視察でしたが、特に大きな収穫は、県立博物館で開催中の「葛飾北斎富嶽三十六景」の版画展で、わが身延を描いた作品を初めて見たことでした。

その折の印象が、この作品に結実したので、などと想像するのも楽しいことではありませんか。

「甲州身延川裏不二」(小学館発行図録)

北斎は江戸時代後期(一七六〇〜一八四九)に活躍した、日本が世界に誇る浮世絵画家ですが、「富嶽三十六景」はその代表作です。「赤富士」の名で知られる「凱風快晴」や「神奈川沖波裏」はよく知られていますが、シリーズの全部を見る機会はありません。今回、県立博物館の特別企画として公開されたわけですが、「富嶽三十六景」は、実は全部で四六枚あることを知って驚きました。

この版画、町にも一枚ほしいものです。(F)

編集委員会 だより

六月定例議会は十九日から二十二日まで開催されました。六月から庁舎内で実施されている「クールビズ」で、温暖化に配慮した雰囲気の中、四人の議員が一般質問に立ち、町行財政の全般についてたどりました。

また提出議案も活発な議論の結果、すべてを原案通り可決して閉会しました。さて広報編集委員会は、閉会と同時に委員会を開催しました。町からの文書配布日が八月二日と決まっているので、ハードな編集日程となりますが、「読みやすく、分かりやすい広報」をモットーに、第七号の編集に取り組みました。これからも町民の皆様が親しまれる広報づくりのため、多くのご意見ご要望をお待ちしております。(U)

